### system count

クエリ時点までにテーブルへ保存されたすべてのレコード数をデータパーティションごとに照会します。

#### 構文

system count [from=yyyyMMdd] [to=yyyyMMdd] [diskonly=BOOL] [TABLE\_LIST]

**from=yyyyMMdd**

照会範囲の開始日付。開始日付を含めて照会します。

**to=yyyyMMdd**

照会範囲の終了日付。他のコマンド（例：[table](https://docs.logpresso.comnull)）のtoオプションとは異なり、指定した日付も照会範囲に含まれます。

from、toオプションを指定しない場合、全期間が照会対象となります。

**diskonly=BOOL**

出力フィールド**count**の出力設定（デフォルト：f）

* t：ディスクに記録された件数のみを照会
* f：メモリにバッファリングされたデータ件数も含めて照会

**TABLE\_LIST**

検索対象のテーブルリスト。複数のテーブルを指定する場合はカンマ（,）で区切ってください。テーブルを指定しない場合、ユーザーに読み取り権限が付与されているすべてのテーブルのレコード数を確認します。

テーブル名の先頭または末尾にワイルドカード（\*）を使用できます。すべてのテーブルを指定する場合はワイルドカード（\*）のみを使用してください。例えば、クエリ文table sys\_\*を実行すると、sys\_で始まるテーブルのうち、読み取り権限が付与されているテーブルがすべて照会されます。

#### 説明

出力フィールド

コマンド実行後に出力されるフィールドの内容は、以下の表を参照してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フィールド | 型 | 日本語名 | 説明 |
| \_time | 日付 | パーティション日付 | パーティション生成時刻 |
| sk | 文字列 | - | 予約フィールド。現在は使用されていません |
| table | 文字列 | テーブル名 |  |
| count | 64ビット整数 | パーティション内レコード数 |  |
| era | 64ビット整数 | パーティション識別子 |  |
| sto\_class | 32ビット整数 | ストレージクラス番号 | 0~9999：Hotティア、10000~19999：Warmティア、20000~29999：Coldティア |
| sto\_path | 文字列 | ストレージパスまたはURI | 例：/hot/araqne-logstorage/log/58、s3:///table/12345678-9abc-de12-aaaabbbbcccc\_tb\_name |

* ストレージ階層については、ユーザーインターフェースマニュアルの[ライフサイクル](https://docs.logpresso.comnull)をご参照ください。